

大阪市環境基本計画の改定について〔答申〕（概要）

新たな環境基本計画

- ▶ 背景
 - ◀世界▶ 人口の増加と経済の拡大、温暖化や海洋汚染、野生生物種の減少など地球環境の悪化
 - ◀日本▶ 少子高齢化・人口減少社会の到来
 - 地域コミュニティの弱体化や高齢単身世帯の増加など、さまざまな影響が懸念
 - 「持続可能な開発目標（SDGs）」、「パリ協定」の採択など持続可能な社会をめざす動き
 - 持続可能な社会の実現に向けてパラダイムシフト（考え方の大きな転換）が必要

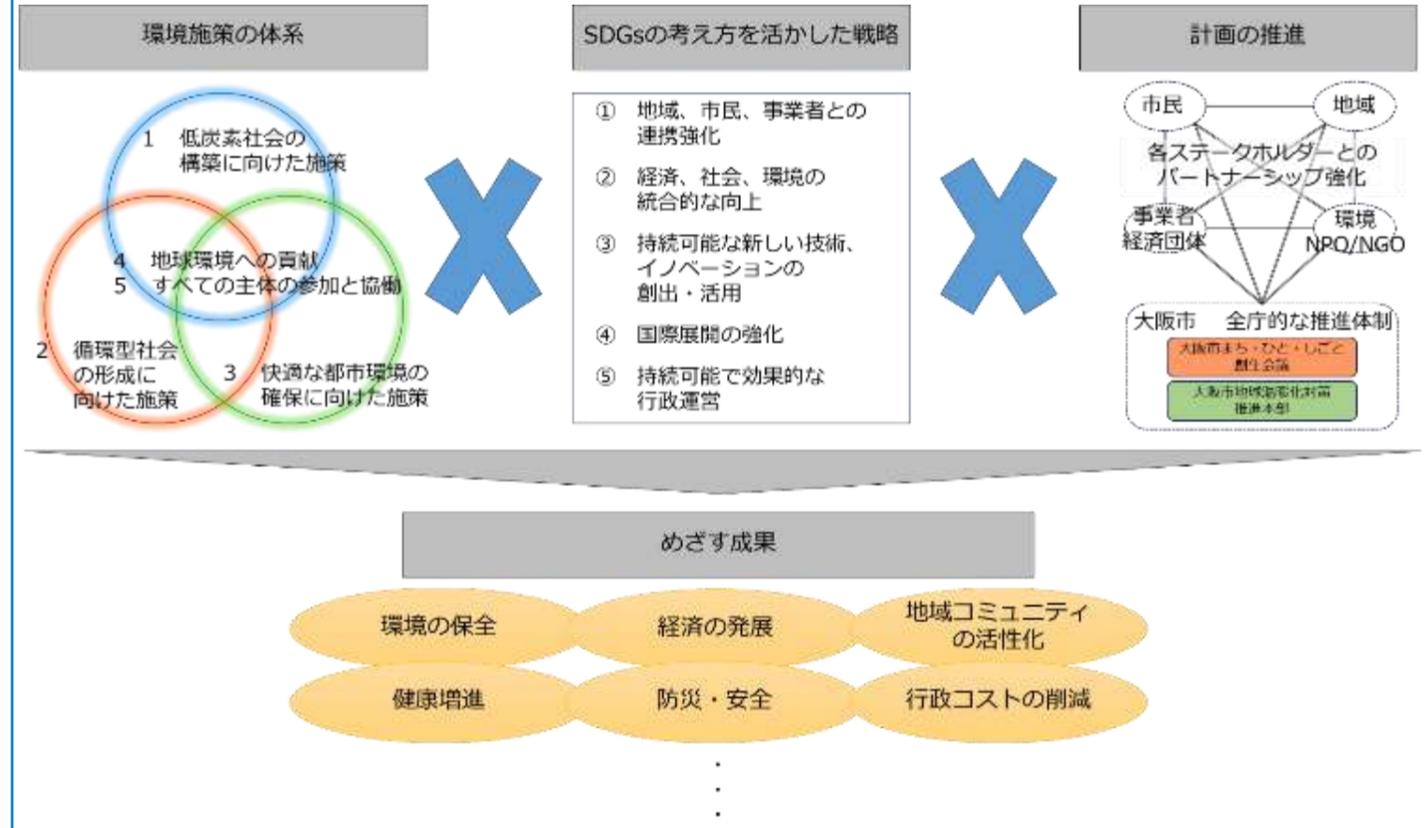
計画の位置づけ



- ▶ 計画期間 2030年度まで（＝SDGsのゴール）
- ▶ 基本的な視点
 - 持続可能な開発目標（SDGs）実現の視点
 - 経済・社会・環境の統合的向上の視点
 - 一人ひとりの人間を大切にする視点
 - 循環・共生の視点
 - 持続可能なイノベーションの視点
- ▶ 計画のビジョン SDGs達成に貢献する環境先進都市
 - 安心快適な環境、経済・社会・環境の好循環、地球環境に貢献

新たな環境基本計画のコンセプト

- ▶ 「経済・社会・環境の課題を同時解決」「すべてのステークホルダーの参画・連携」「誰一人取り残さない」というSDGsの考え方を積極的に活用、SDGsの実現に貢献
- ※ 幅広い市民生活の領域全般にわたる的確に対応するという基礎的自治体としての使命、国際的な大都市として求められる役割・責任が、SDGsの理念と一致



推進体制と効果検証

